

第65期 中間報告書

2024年4月1日 2024年9月30日

65th INTERIM REPORT

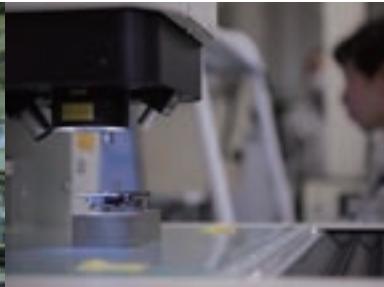


日立精工株式会社

証券コード 7927



ムトー精工株式会社は、
金型技術・成形加工技術を追求することにより、
進化するプラスチックを高品位・高品質な部品として
社会に届けることを使命としています。



ムトーは、最適製造・最適調達を ワールドワイドに展開します。

当社は、射出成形用金型の設計・製作及び精密プラスチック部品製造の分野において、長年高い技術を築き上げてきました。急速に発達する3D設計やNC加工を取り入れ、コア技術に更なる磨きをかけ、確かな品質の製品をお客様へお届けします。金型製作の高い技術力とグローバル供給網を“強み”に、アジアから世界へ、成長市場・新規市場へと事業領域の拡大を押し進め、高収益体質を目指します。

海外生産比率 6割

「顧客に近いアジア地域 での圧倒的な生産力」

現在、製品の6割をアジア地域で生産しています。日本と海外の各生産拠点で金型設計・加工データを共用できるネットワークを構築。低コストでシームレスに金型設計からプラスチック成形品を量産できる生産体制は、お客様から高く評価されております。

プラスチック 射出成形の 一貫生産

上流から ワンストップで

「金型から造る技術力」

成形品の量産に加え、お客様のご要望に応じて、上流工程の企画・設計段階から参画し、研究開発・試作金型の製作から金型単体の外販に至るまで事業の領域を拡大させ、収益の幅を広げていきます。

もっと グリーンに

「環境配慮も追求した 塗装・組立」

顧客の求める環境基準への適合はもちろんのこと、「取り組もう環境保全・大地の恵みを次世代へ」を環境スローガンに、社員教育の徹底や各工程における環境汚染物質、廃プラスチックの削減を実行しています。

飽くなき 品質の追求

「超精密製品製造に 対応する体制」

24時間体制の自動化ラインでニーズに柔軟に応え、品質向上とコスト削減を実現しています。また、形状や規格等、お客様から求められる厳しい検査基準に対し、高い計測技術で応えています。



株主・投資家の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの第65期中間期（2024年4月1日から2024年9月30日）が終了いたしましたので、ここに事業の概況と中間決算についてご報告申し上げます。

2024年12月
代表取締役社長

田中 肇

第65期上期を振り返って

事業環境と業績レビュー

第65期上期は、米国を中心に景気は持ち直しつつあり、日本においては訪日観光客の増加による消費の回復が見られるなど、経済活動の活性化が進んでおります。しかしながら、世界情勢の緊迫化や中国経済の後退、急激な円相場の変動、原材料やエネルギー価格の高止まりによる物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

その結果、当中間連結会計期間における業績は、売上高は142億1千6百万円と前年同期と比べ7億8千6百万円(5.9%)の増収、営業利益は11億3千7百万円と前年同期と比べ6千2百万円(5.9%)の増益、円高の進行に伴い為替差益が2億7千9百万円減少したことなどにより、経常利益は12億5千8百万円と前年同期

と比べ2億円(13.7%)の減益、親会社株主に帰属する中間純利益は8億6千3百万円と前年同期と比べ2億1千4百万円(19.9%)の減益となりました。

今後の展望と通期の業績見通し

当社を取り巻く業界におきましては、家電分野では、デジタルカメラカテゴリーにおいて付加価値の高いミラーレスカメラの需要が好調で、当社ではタイでデジタルカメラ部品の受注が増加を続けております。前期に好調だった自動車関連部品では、国の認証試験の不正問題に伴う生産停止などを背景に、得意先からの受注は減少に転じました。プリンター部品におきましては、コロナ需要からの反動により前期に減少していた得意先からの受注が、回復傾向にあります。電子ペン



部品では、テレワークを背景とした需要は落ち着きましたが、一定の受注を維持しております。医療機器関連では、高齢化社会を背景とした医療ニーズの高まりに伴い、得意先から安定的に受注を獲得しております。

以上の要因を踏まえ、通期の連結業績は、売上高270億円、営業利益23億円、経常利益23億円、親会社株主に帰属する当期純利益は16億5千万円を見込んでおります。

株主の皆様へメッセージ

当期の見通しにつきましては、米国を中心に景気の回復が見られるものの、世界情勢の緊迫化を起因とする世界的な原材料やエネルギーの価格高騰及び物流の

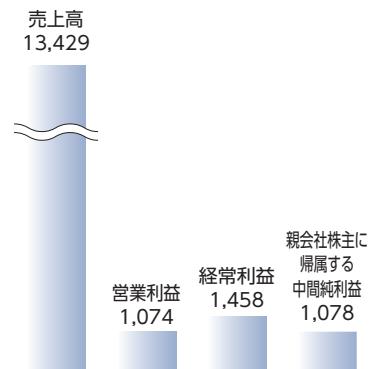
混乱が続いていることから、顧客の生産調整や新規製品の生産開始の遅れなど、当社の生産活動への影響は今後も続くことが見込まれます。また、今後の為替相場の動向は、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

このような状況の中、当社グループは、柔軟な生産体制を構築し事業環境の変化に備えると同時に、顧客各社の動向を注視し着実な受注活動を行い、世界情勢による様々なリスクに対応していく所存であります。

配当金につきましては、当社の配当方針に基づき、1株当たりの年間配当93円50銭を計画いたしております。株主の皆様におかれましては、長期的な視野に立って、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

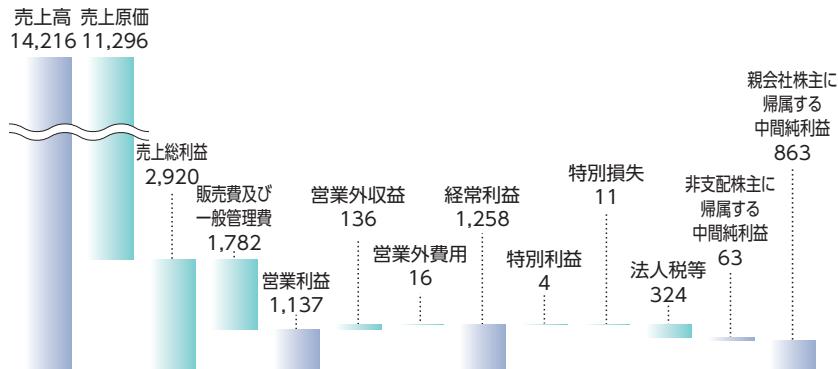
収益の状況(連結)

(単位:百万円)



2024/3 中間期

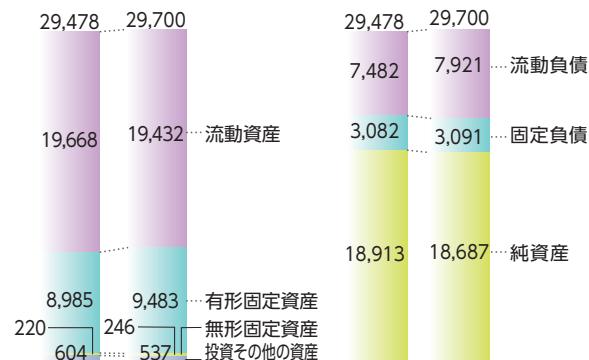
(単位:百万円)



2025/3 中間期

資産の状況(連結)

(単位:百万円)

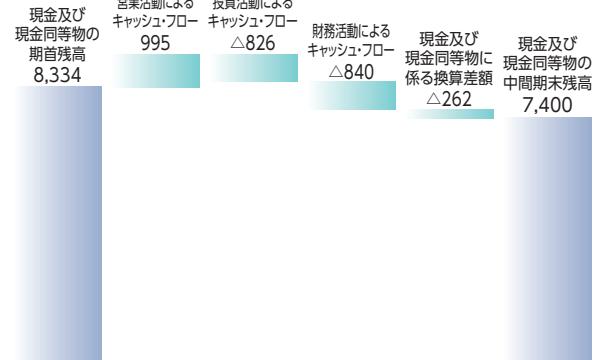


2024/3 期末 2025/3 中間期末

2024/3 期末 2025/3 中間期末

キャッシュ・フローの状況(連結)

(単位:百万円)



2024/3 期末

2025/3 中間期末

➡ 会社概要

商号	ムトー精工株式会社	
本社所在地	岐阜県各務原市鷺沼川崎町1丁目60番地の1	
ホームページ	https://www.muto.co.jp	
創業	1956年6月	
資本金	2,188百万円	
従業員数	連結3,301名	個別199名

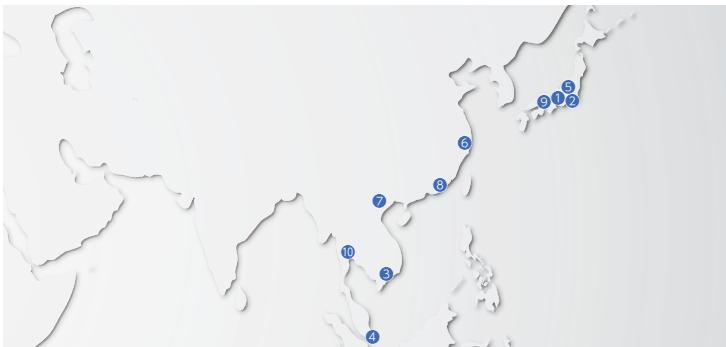
➡ 事業の内容

当社は、プラスチック成形用金型及びプラスチック精密部品の製造・販売、各種設計業務並びに技術支援等のサービス業務、プリント配線基板の設計・検査・販売及び精密プレス部品の製造・販売を行っております。

高度な専門技術を中心に、金型設計から金型製造、プラスチック成形、二次加工として塗装 (UV)・印刷・レーザーカット、そして最終工程の組立までの一貫生産を行っております。

また、海外戦略として、本社工場をマザー工場と位置付け、中国・東南アジア方面へ生産拠点のグローバル化を推進し、最適製造・最適調達システムをワールドワイドに展開しております。

➡ グローバルネットワーク



- ① 本社
- ① 岐阜工場
- ① テクニカルセンター
- ② 東京営業所
- ③ ムトーベトナムCO.,LTD.
- ④ ムトーシンガポールPTE LTD
- ⑤ 大英エレクトロニクス株式会社
- ⑥ 豊武光電 (蘇州) 有限公司
- ⑦ ムトーテクノロジーハノイCO.,LTD
- ⑧ 武藤香港有限公司 (清算手続中)
- ⑨ タチバナ精機株式会社 (10月に全株式を譲渡)
- ⑩ ムトー (タイランド) CO.,LTD.

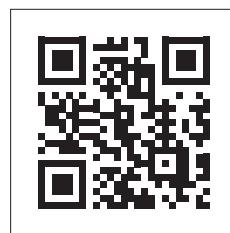
➡ 株式の状況

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	7,739,548株 (自己株式689,655株含む)
株主数	7,225名

➡ 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
田中肇	498	7.08
株式会社大垣共立銀行	328	4.67
株式会社十六銀行	270	3.84
名古屋中小企業投資育成株式会社	247	3.51
株式会社三菱UFJ銀行	220	3.12
国立大学法人東海国立大学機構	200	2.84
ピーピーエイチ フォー フィデリティ ロー プライズド ストック ファンド	193	2.75
ムトー精工従業員持株会	190	2.70
ステート ストリート バンク アンド トラスト クライアント オムニバス アカウント オーエムゼロツー 505002	150	2.13
公益財団法人ソニー教育財団	110	1.56

(注) 1.当社は、自己株式689千株を保有しておりますが、当該株式には議決権がないため、上記の大株主から除いております。
2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。



<https://www.muto.co.jp>



この印刷物は、
植物油インキを
使用しています。